

下野新聞社杯 第56回記念県学童軟式野球大会開催要項

1. 主 催 (株)下野新聞社／(一財)栃木県野球連盟
2. 後 援 栃木県教育委員会
3. 協 賛 アルファクラブ(株)／ナガセケンコー(株)／(株)共同写真企画
(一社)栃木県トラック協会
4. 会 期 2025年8月2日(土)～【2,3,9,10,11,23,30,31日】
5. 会 場 エイジェックススタジアム(県総合運動公園本球場)他、県内各球場
6. 参加チーム 2025年度一般財団法人栃木県野球連盟学童登録チームで、県内各支部予選を勝ち抜いたチーム及び支部の推薦を受けた“128チーム”
7. 適用規則 2025年公認野球規則・競技者必携「学童野球に関する事項」及び大会特別規則を適用する。チームは、試合臨む際、規則書・必携を必ず携行すること。
8. 使用球 (公財)全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーJ号とし、毎試合2個チーム持寄り。
9. 参加申込 栃木県野球連盟のホームページから参加申込書をダウンロードのうえ、
2025年7月11日(金)必着にて所属事務局に参加申込書と参加費25,000円を添えて申し込んで下さい。(手書き不可、エクセルを活用のこと)
*参加申込書は背番号の若い順から記入のこと。
10. 監督会議 ◇日 時：7月20日(日)14:00～ 受付開始：12:30～
◇会 場：栃木県教育会館 住所:宇都宮市駒生1-1-6 TEL:028-621-7177
◇出席者：監督1名・主将1名(又は主将代理選手)計2名が必ず参加すること。
上記以外は入場を認めない。監督会議であるから監督が参加すること。
監督のみや監督と大人の参加は認めない。
会議には、大会要項・規則書・競技者必携を持参すること。
◇提出物：【必須提出】開会式当日のチーム“交通手段調査票”
(要項付記資料または県連 HP からダウンロード上、提出下さい。事前も可。)
◇意思表示：選手宣誓希望者は、受付時に希望の意思表示をお願いします。
11. 開 会 式 ◇日 時：7月29日(火)17:30～(アトラクション～入場行進予定)
◇会 場：エイジェックススタジアム(県総合運動公園本球場)
◇開会式へ参加できる選手：
チーム全員(登録外選手も可)認めます。その際、全員同一ユニフォームが望ましいが、揃わない場合は、練習着やベースボールシャツ等野球選手に相応しいスタイルでお願い致します。また、合併チームは、各チームのユニフォームを着用しても良いとします。
尚、低学年の選手が多いチームは行進の練習もしておきましょう。行進は、小さい順に3列です。
また、選手は行進時、熱中症対策として、ポケットにペットボトルを持参するようにしてください。さらに、行進にて選手がレフト付近通過後、コーチ1名が最後尾に付き安全(熱中症対策)確保(ジョグ等持参可)を行なってください。(そのまま開会式参加ください)
尚、試合の服装は、後段の16に定めるものとする。

12. 大会表彰 大会はトーナメント制とし、以下のとおり表彰する。

◇優勝・・・賞状／優勝旗／優勝盾／優勝メダル

◇準優勝・・・賞状／準優勝旗／準優勝盾／準優勝メダル

◇第三位・・・賞状・盾・メダル

◇競技規則・運営・応援・マナーに関する事項

13. 競技運営に関する注意事項（競技者必携重点事項及び相違事項）

(1) 球場の開門

第一試合開始 30～90 分前とする。（県営 30 分、小山・宮原 45 分、駒生 50 分、その他 90 分前）

第一試合のチームに限り外野での練習をしても良い。

(2) ベンチに入れる人員

① 大会へ登録した監督30番、コーチ29番・28番及び選手25名以内（ユニフォーム着用）とスコアラー1名（ユニフォーム非着用）。但し、監督・コーチは20歳以上でなければならない。登録されていない者がユニフォームを着用してベンチに入ること禁ずる。

② 熱中症対策（水分補給や首を冷やす等の処置をする方）をする保護者2名を必ずベンチに入らせること。尚、県連指定ビブス着用してください。

(3) 打順表の提出（必ず5枚つづり）

第一試合のチームは試合開始30分前までに、第二試合以降のチームは前の試合の3回終了時に、監督と主将が大会本部（審判員控え室）に提出し、登録原本と照合ののち、球審立ち合いのもと“じゃんけん”で攻守を決定する。

尚、打順表の同姓の選手には背番号を○印で囲む（控え選手も含む）。

また、学年を欄外に記入（①②③④⑤⑥等）をお願いします。

(4) 先発投手のブルペンを使用

攻守決定後、先発バッテリーのみ競技場内のブルペンを使用し投球練習ができる。

捕手はマスク・レガース・プロテクター・ファウルカップ等フル装備すること。

その際、マスク等荷物をグラウンドやフェンスに置かない。選手2名以外は入れない（指導者入場禁止）。また、ブルペンは試合中のチームが優先使用する。

（お願い事項）投手-捕手間の距離の計測は、ビニールの荷造りテープ等16mに切った物を準備し計測。計測後はポケットに入れ投球練習をするようにして下さい。

(5) 試合の挨拶

試合の挨拶は、試合前後の本塁整列の挨拶が全てである。（必携 P33、40）

従って、試合中に審判員に何度も挨拶する必要はありません。

14. 競技に関する特別事項（競技者必携重点事項及び相違事項）

(1) 正式試合

6回または90分ゲームとする。

但し、健康維持を考慮し、4回終了前であっても、試合開始後90分経過した場合は、新しいイニングに入らない。（必携 P41 及び 4 回は関東連盟内規採用）

暗黒、降雨の場合は4回（関東連盟内規）を終了すれば試合は成立する。

(2) 制限時間・90分に達した時の取り扱い（必携 P44～45）

先攻チームがリードしたまま、先攻の攻撃中に達した→後攻の裏の攻撃まで行う。

後攻チームがリードしたまま、後攻の攻撃中に達した→その時の打者の打撃完了で終了。

(3) 点数によるコールドゲーム

5回終了時点、7点差（関東連盟内規）。但し、決勝戦は適用しない。

(4) 同点の場合→タイブレーク方式

6回完了または90分経過し同点の場合は、タイブレーク方式を適用する。継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち、0アウト一塁・二塁の状態にして、投手の投球制限を遵守の上、1イニング行う。決しない場合は更に1イニング行い。最大2イニング行う。決しない場合は抽選とする。(関東連盟内規)

(5) 投手の投球制限

- ① 1日70球以内(4年生以下は60球)。
- ② 試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる
- ③ ボークにかかわらず投球したものは投球数に数える。
- ④ タイブレークになった場合は、1日の規定投球数以内で投球できる。
- ⑤ 準備投球や牽制球、送球は投球数としない。

◇◆◇ 投球数のカウント ◇◆◇

投球数は、両チームより成人1名を選出し、大会本部設置のカウンターにて、自チームの投球数をカウントして頂きます。これを正式投球数とします。

尚、お手数ですが、1イニング毎、控え審判員に投球数をお知らせください。

(6) 熱中症対策としてクーリングタイムを、2回、4回終了時に、それぞれ5分間設ける。

また、イニングが長引いた場合(概ね20分)には審判員の判断で適宜給水タイムを設ける。
どちらも試合時間には含めない。

15. 各大会共通(競技者必携重点事項及び相違事項)

(1) 試合中の禁止事項(安全確保、危険防止、マナー) ※県野球連盟内規

- ① サングラスを帽子の底の上に乘せてプレイすることを禁止する。(危険防止)
- ② ネックレス、磁気ネックレス等、全て禁止する。(危険防止)
- ③ 目の下へのペイントについて(マナー)
眩しさを避けるに目の下へ、ペイントする場合は、必要最小限にとどめること。
過剰なペイントは相手に対し『礼』を失っているように見えます。学童野球らしいスタイルで試合に臨んで下さい。

(2) スピードアップに関する事項

- ① 投手は打者と面した後、走者がいない場合には12秒、走者がいる場合は20秒以内に投球動作の開始をしなければならない。違反した場合は、球審はただちにボールを宣告する。(必携P5)
- ② 内野手が投手に返球する時は、定位置で返球すること。マウンドへ持っていけない。
特に一塁手が多く見受けるので注意すること。(必携P11)
また、投手は投球や牽制のあと、何らかのプレイが起きない限り、前には出てはいけない。投げた位置またはプレート付近で返球を待つこと。捕手も投球を受けたあと、何らかのプレイが起きない限り、前には出ず、その場から投手へ返球すること。
- ③ 球審にボールを届けてくれる選手(感謝します)は、ファウルボールが打たれた時や、タイム中にボール(つまりボールデッド中)を届けて頂くようお願い致します。
球審が気づかず、危険であったり、プレイが止まったりする場合がある為。

(3) マナーに関する事項

- ① 投手が投手板に触れて投球準備動作に入ったら、投手の動揺を誘うような大きな声を発しないこと。両チームベンチ選手・指導者及び応援者。(P57)
- ② メガホンはベンチ内にて1個のみ使用できる。但し、目的は指示をしっかりと選手に伝える為のものであるから、ベンチ内で応援団と同じような使い方や、むやみな大声の発声を慎むこと(指導者)。
- ③ プレイ中はみだりにベンチを出る行為を禁止する。(必携P56、他P53、56)
試合中は、選手、監督・コーチはベンチからみだりに出てはいけない。尚、ダッグアウト(段差のあるベンチ)になっている場合は、片足を最上段(地面同)に乗せても良いが、もう片

足はダッグアウトの一段下がったところにおくこと。絶対に最上段に両足で立ち上がらないこと。立ち上がった場合はベンチを出ていることになる。

16. 用具・ユニフォームに関する事項(競技者必携重点事項及び相違事項)

- (1) 選手、監督、コーチは、全員が同色、同型、同意匠のユニフォームでなければならない。
指導者のみのロングパンツは同型、同意匠とみなさない。
- (2) 安全確保の為、試合中は、打者・走者・次打者・ベースコーチはJSBB 公認の両耳付きヘルメット、捕手は公認マスク、プロテクター、レガースおよび捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用すること。

17. 応援(団)について

- (1) 次の球場の応援団活動は8:30からとなります。(近隣住民への配慮)
→県営 A・B・C 球場、宮原球場、駒生球場、
- (2) 守備側の応援での、鳴り物、声をあわせた声援、手拍子等は禁止です。
個々の声援と個々の拍手(手拍子ではない)のみで行うこと。
- (3) 攻撃側の応援の際、鳴り物を使用して良い球場(会場)は以下のとおりとなります。
 - ① 太鼓等楽器使用可能球場(会場)
エイジエックスタジアム／とちぎ木の花スタジアム／ヤオハンいちごパーク／
矢板会場／小山会場／真岡ハイトラ市民球場
 - ② 太鼓等楽器使用 NG 球場・・・メガホンやペットボトルにビーズ等入れ音を出す等は可
県営 A・B・C 球場／宮原球場／駒生球場／芳賀ひばり球場

18. 健康管理について

- (1) チームは熱中症に最大の注意払い、予防対策を施して参加すること。
- (2) チームは、自主的にスポーツ傷害保険等に参加し万全の体制で大会に参加すること。
尚、試合中に起きた負傷等についてはチームにおいて一切の処理を行うものとし大会本部では一切の責任を負わない。
尚、会場で救急車を呼ぶ場合には、必ず会場責任審判員に報告してください。
- (3) 指導者は試合中、罵声を浴びせる様なパワハラの叱責、指導は厳に慎むこと。(必携 P57)
目に余る場合は、試合を中断し審判員・役員より注意する場合があります。

19. 天候不順時の試合実施の有無

◆試合の有無 : 朝 5 時 00 分に県連 HP に掲載

尚、5:15 までに掲載なき場合は、当日の第一試合のチームのみ電話(代表者1名のみ)で、確認してください。必ずチーム名とお名前をお名乗りください。

混乱回避のため、第二試合以降のチームの電話問い合わせは禁止とします。

栃木県野球連盟 代表電話 028-645-5589

雨天順延が発生した場合は、当日の13時を目処に、次の予定をHPに掲載いたします。

20. その他

- (1) 試合模様等の写真・ビデオ撮影データは、個人で楽しむ・思い出として残すものとする。
従って、SNS 等へ配信する場合は、相手チームの承諾を必ず得ること。
トラブルが起きても主催者は一切の責任を負いかねます。
また、SNS 等での誹謗中傷等を一切禁じます。
- (2) 大会は、子ども達が主役で、子供たちの為の大会であるので、大会会場での飲酒は禁止とします。開会式や試合会場にて、引率・帯同する指導者・保護者に飲酒が認められた場合は、主催者側で協議の上、厳正なる対処をいたします。

【下野新聞社より、お願いとおことわり】

参加申込書の選手名は、そのまま下野新聞紙面のチーム紹介に活用いたします。

間違いのないように、保護者等に文字等確認をとったうえで正確に、ご記入ください。

（登録用紙データをシステムに複写します<旧字体は除く>のでそのままになります）

万一、間違っていた場合は、下野新聞社紙面でなく、後日発刊予定の「学童野球グラフ」にて修正いたします。

また、大会期間中の記事については、旧字体等も全て例年通り「新聞用字」に変換して掲載させていただきますので、ご了承ください。

7/29 開会式日

交通手段調査票

(7/20 監督会議時 必須提出)

※事前に分かれれば県連へ FAX 可 028-645-5532

◇チーム名

記入者

◇バス利用の場合

✓ 大型バス ()台

✓ 中型バス ()台

✓ 小型バス ()台

+

✓ 乗用車※見込台数 ()台

*バス活用も乗用車を使用する場合は記入

◇乗用車のみの場合

乗用車※見込台数 ()台

※記入上の注意

乗用車は正確でなくて構いません。

ご家族(祖父母様・親戚)等、応援者を含むだいたいの台数。

バス利用チームも記入して下さい。